

四日市市幼児教育センター

令和5年9月発行

センターだより

は ぐ く む

夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002



9月9日(土)「オータムフェスティバル」を開催しました。運動会等の行事が目白押しの大変忙しい時期でしたが、幼児教育センターを訪れていただき、職員一同嬉しく思っています。

当日は、いくつかの手作りおもちゃのコーナーで、製作しながら、普段の保育のこと、子どもの姿、コーナーで作ったおもちゃで子どもたちと遊んでみたいなど、アドバイザーに、つぶやいていただける人もいました。

皆様の貴重なつぶやきを今後のセンター活動に生かしていきたいと思います。

最近、幼児教育センターのアドバイザーが園訪問させていただいた園の保育者さんが来てくれました。



園長先生から見せてもらったフェスティバルのチラシを見て、自分の勉強のため、行ってみようと思い、来ました。でも、子育て中なので、どうしようと思っていましたが、4階に子育てプラザがあって、センターにも絵本やおもちゃがあり、見学できるので、来てよかったなと思いました。

園長先生から見せてもらったフェスティバルのチラシを見て、「行ってみたいです」と言ってみたら、「子どもたちは見ているから、行っておいで」と送り出してもらい、来ました。

この手作りおもちゃ、子どもたちと遊んだり、園の先生にも紹介したりします。

私たちに声を届けていただきありがとうございます・・・

子育て中の保育者さんや勤務時間をやりくりしてかけつけてくれた保育者さんなど、いろいろな保育者の方の思いを知りました。ありがとうございます。

アドバイザー

「人生とは嵐が過ぎ去るのを待つのではなく、雨の中でダンスするのを学ぶこと」これは、京都大原でハーブ研究家として活躍されていたベニシア・スタンリー・スミスさんの言葉です。

熱中症に気を配り、日々幼児教育・保育に健闘されている皆様におかれましては、4月からの子どもたち・保護者の皆様との新しい出会い発見の中、振り返れば真夏を乗り切り、秋といってもまだまだ残暑厳しい日々、子どもたちと、次の目標等に向かって、健闘されていることと思います。

私たちアドバイザーも園訪問を重ねるたび、それぞれの就学前施設にて、子どもたちの最善の利益を考え、様々な工夫や職員間の連携のもと、子どもたちに関わっている姿を目の当たりにし、アドバイザーとしての学びの日々でもあります。

この仕事の多様性に、人生の嵐を感じることも多いかと思えます。紹介させていただいたベニシアさんの言葉にあるように、雨の中のダンスさながら、少しでも、様々な事柄に向き合うことができるよう、園訪問をさせていただき、支援の輪に加わりたいと思っております。お気軽にお声がけください。

のつぶやき

言葉の魔術師に学ぶ

男子バスケットボール日本代表監督を皆さんご存じですか。

バスケットボール男子日本代表のトム・ホーバス監督(56)は、2年前の東京五輪で、バスケットボール女子日本代表に銀メダルをもたらしました。今回は男子を開催国枠以外で48年ぶりとなる五輪出場へと導きました。

アメリカ合衆国の元プロバスケットボール選手でした。

日本チームを率いるにあたり、選手の立場に立ち、日本語を使い、相手を尊敬し、コートの中だけでなく外でも、選手に声をかけている、その言葉の力は有名です。

よろしくお願ひします

信じて

「自分を信じて」「チームメイトを信じて」

相手を思いやり、尊敬する行動力や自己肯定感を育てる言葉がけ、ワールドカップの舞台も、幼児教育・保育の現場も、人にかかわり、育てる思いは共通することを感じます。

四日市市幼児教育センターに、仲間入りしました。



センターだより1ページ目で紹介させていただいたチラシです。
また、ぜひ開催したいと思っています。お楽しみに……。

Autumn festival

センター開設5カ月記念

2023・9・9(土)

10:00~17:00

参加時間オールフリー

橋北交流会館3階フロア

相談コーナー

手作り壁面コーナー

手作り遊具で
子どもたちと
遊ぼう。

迷っていること
悩んでいること
など相談待って
います。

手作り遊具コーナー



四日市市幼児教育センターは、4月開設より5か月たちました。

毎月、第2土曜日の開館を皆さまご存じですか。今回は夏の疲れをいやし、季節と共に幼児教育保育の深まりを願い、様々なコーナーを設定し、皆様にご利用いただければと思います。

お気軽にお越しください。お待ちしております。

四日市市幼児教育センター主催
059-333-6002